

「車と人、お互いが気遣うようになれば」

甲賀市は、昔から交通事故が多い地域です。

原因として、一つは交通環境が挙げられます。市内を通る国道や県道の距離が長く、交差点が多数存在することから、特に出合頭事故が多発する環境にあります。

もう一つは、シートベルトの着用率からも分かるように、交通安全に対する意識が希薄だということが挙げられます。



滋賀県甲賀警察署
交通課長 田中 充 警部

● 高齢者と保護者の皆さんへ

悲しいことに最近では、子どもと高齢者が巻き込まれる事故が特に多く発生しています。

高齢の方は、歩いて道を横断する時など「車が避けるだろう」という考えは危険です。運転者から見えていないこともありえるのです。

特に夕暮れ時などは反射材を身に着けるなど「自分の身は自分で守る」意識を持つようしてください。

また、小さいお子さんは、飛び出し事故が多く、小学生以上になると自転車事故が増えます。ご家庭でも車に注意するよう指導をお願いします。

※事故に遭った場合は、けがが無くても必ず警察に連絡してください。(甲賀警察署 ☎62-4155)

● 事故を防ぐためには

事故を防ぐためには、警察だけでは困難です。警察と市、自治振興会をはじめ地域の皆さんの一体となった取り組みで少しずつ改善していきます。

車と人、お互いが気遣うようになれば事故は減ります。運転者はマナーと思いやりが、歩行者は「自分の身は自分で守る」意識と行動が大切です。

● 飲酒運転ゼロをめざして

最後に、飲酒運転による事故も多く発生しています。「もし自分の大切な人が飲酒運転の犠牲者となったら…」と想像すれば「ちょっとくらいなら見つからないだろう」とは、思わないはずです。

飲酒運転は、悲しい結末をもたらす、許すことのできない犯罪です。一人ひとりが強い決意を持って、甲賀から飲酒運転を無くしていきましょう。



シリーズの初回として、甲賀警察署田中交通課長にお話を聞きました。田中課長が述べられるように、市内には国道や県道、市道が整備され、自動車やバイク、自転車は生活に欠かせない交通手段になっています。毎日、人や乗り物が道路を行きかう中で事故が起こります。事故は、決して偶然きモラルやルール、マナーを軽視する行為につながり、事故の原因となります。

先を急げとばかりに車間距離を詰める車、対向車がなければ制限速度無視で追いつ越す車、赤信号の代り端でも平気で交差点へ進入する車などを、皆さんも目にしたことがあるのではないのでしょうか。

甲賀市は、警察のまともによくと、シートベルトの着用率の低さや出合頭事故が多いことから、交通安全意識の希薄さが見受けられる結果が出ています。また、絶対にあつてはならない飲酒運転も多いとのこと。警察は取り締まりを強化し、市行政も広報や立番など交通安全の啓発を行っています。ハンドルの握る一人ひとりの意識が高まらない限りは悲惨な事故はなくなり

甲賀市は、警察のまともによくと、シートベルトの着用率の低さや出合頭事故が多いことから、交通安全意識の希薄さが見受けられる結果が出ています。また、絶対にあつてはならない飲酒運転も多いとのこと。警察は取り締まりを強化し、市行政も広報や立番など交通安全の啓発を行っています。ハンドルの握る一人ひとりの意識が高まらない限りは悲惨な事故はなくなり

甲賀市は、警察のまともによくと、シートベルトの着用率の低さや出合頭事故が多いことから、交通安全意識の希薄さが見受けられる結果が出ています。また、絶対にあつてはならない飲酒運転も多いとのこと。警察は取り締まりを強化し、市行政も広報や立番など交通安全の啓発を行っています。ハンドルの握る一人ひとりの意識が高まらない限りは悲惨な事故はなくなり

かけがえのない命を守るために

～悲惨な交通事故 限りなく0をめざして～

思いやり 笑顔いきかう 滋賀の道

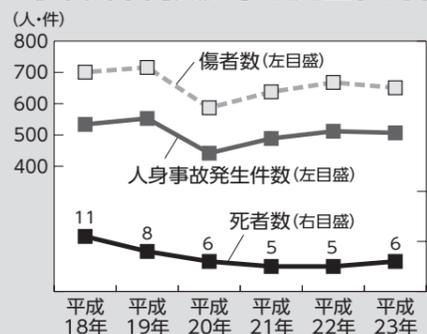
— 平成24年度 滋賀県交通安全スローガン —

— 全国で発生した交通事故で、昨年亡くなった方は4,611人です。最も多かった昭和45年に比べると3割以下になっています— この一文を読んで、どのような感想を持たれますか？

事故が少なくなっていることは良いことですが、統計数字に表れない悲しみや後悔の数はもっと大きく、いつまでも癒えることはありません。重大な死亡事故はもちろん、生涯に渡って後遺症に苦しむ事故もあります。交通事故はあまりにも多くのものを奪っていきます。

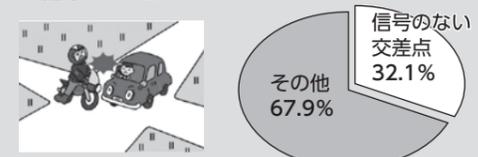
甲賀市でも近年、500件前後の交通事故が毎年発生していますが、注意すれば防げます。本紙では、今月号から皆さんにルールやマナーを再チェックしていただき、限りなく事故ゼロをめざしてシリーズで交通安全を考えていきます。

《 甲賀市内交通事故発生状況 》



《 出合頭事故が多い 》

市内で発生した人身事故のうち、信号機のない交差点での出合頭事故は、163件発生しています。これは、全体の約3割を占め、各市平均と比べても高い結果でした。



平成23年中の甲賀市の交通情勢

《 カーブ地点や正面衝突の事故が多い 》

- 市内で発生した事故のうち、約1割を占めるのが、カーブ地点での事故。
- 正面衝突の事故発生率は、高島市に次いで県内ワースト2位



《 シートベルトの着用率が低い 》

- 平成22年のシートベルト着用率は 滋賀県/全国ワースト1位 甲賀市/県内ワースト1位
- 平成23年のシートベルト着用率は 滋賀県/全国ワースト2位 甲賀市/県内ワースト7位

※県内 19市町中

安全運転チェックリスト

普段、どんな運転をしていますか。あてはまる項目にチェックしてみてください。

- 脇見や考え事をしていて、ハットすることがある
- 前の車のブレーキランプに気づくのが遅れて、慌てることある
- 運転中、よくオーディオ、テレビの操作をする
- 眠気を感じて、ヒヤリとすることがある
- 何度も信号で止められると、とてもいやな感じがする
- 他の人の運転に腹を立てることが多い
- 横断歩道のすぐ手前で、歩行者や自転車に気づくことがある
- 運転中、身支度や飲食をする
- 割り込みされそうな時は、車間距離をつめる
- 走行中、携帯電話に着信があると、受けてしまう

いくつか心当たりがありませんでしたか。「ヒヤリ」や「ハット」することや、イライラするようなことが多く、やがては事故につながるおそれがあります。

新入学(園)児の

交通事故防止運動

【実施期間】

3月15日(木) ～ 4月15日(日)

【実践事項】

- 運転者の皆さんは
 - 学校や公園など、子どもがいそうな場所では徐行し、子どもを見かけたときは、不意の行動に対応できるように、思いやり運転に心がけましょう。
 - 違法駐車・迷惑駐車は、道路の見通しを妨げ、飛び出し事故の原因となるのでやめましょう。
 - 子どもを自動車に乗車させるときは、乳児用・幼児用・学童用シートなど、体型に合ったチャイルドシートを正しく着用させましょう。
- 保護者の皆さんは
 - 入学(園)前までに、子どもと一緒に通学(園)路を歩き、子どもの目線で危険箇所を確認しましょう。また、道路の歩き方、横断方法、信号の見方等、実際の道路状況に応じた注意点を具体的に繰り返し教えましょう。
 - 自転車に乗車する子どもにはヘルメットを着用させましょう。
 - 自転車の後部子どもを乗せる場合は、乗車装置を設置し、ヘルメットを着用させましょう。

生活環境課

☎65・0686
☎63・4582